村へ行く

鶴彬

青空文庫

晴れわたる
秋の遠山は、らんじゅくした、女のらたい、ふっくらとした、山肌は、女の、いんこうのごとき、谷をきざむ。ああ、はるかに見る、秋の山山は肉感的なるかな
十時五分前
太陽はさんらんと放散するのに馬車にへこんだ、村の道を、詩人があるく

×

一せいに高い、けやきの枝は、やみ上がりの女のかみのごとく、うすく宙をねらう
土蔵の壁の白く明るく。
村を吐き出されたひとびとは、
絵のごとく、でんぱたにうごく高い空——
十時。
地蔵が、もくして立つ、詩の入り口に詩人がつく。

青空文庫情報

底本：「手と足をもいだ丸太にしてかえし　現代仮名遣い版鶴彬全川柳」邑書林
2007（平成19）年12月16日第1刷
2009（平成21）年7月15日第2刷
初出：「北国新聞」
1925（大正14）年11月13日
入力：坂本真一
校正：染川隆俊
2013年8月15日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

村へ行く

鶴彬

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/